

海軍公報

第二千四百二十八號

海軍大臣官房

昭和十年四月一日(月)

廢止 ○令 達

官房第一三四七號

昭和十年四月一日
ニテ本號廢止

當分ノ内許可ヲ受ケ滿洲(關東州ヲ除ク)ニ在ル部隊所在地ニ家族ヲ移轉シ又ハ同地ヨリ家族ヲ移轉スル者家族移轉料ノ支給ヲ受ケントスルトキハ海軍外國旅費規則第二十六條ノ手續ハ之ヲ省略スルコトヲ得

昭和十年四月一日

海軍大臣

官房第一三四八號

當分ノ間滿洲(關東州ヲ除ク)ニ在ル部隊ニ勤務スル軍人軍屬ニ對シ海軍給與令第八十七條ニ依リ給スル食料及海軍給與令施行細則第二百二十八條ニ依リ適宜ノ糧食ヲ給スル場合ノ最上限金額左表ノ通定ム

昭和十年四月一日

海軍大臣

(左表)

官等	金額	區分	
		食料	食費
大將	五八五〇〇	適宜食	夜食
候補生		二十五錢	八錢

昭和十年四月一日
海軍大臣

官房第一三四九號
昭和十年四月一日
ニテ本號廢止

海軍外國旅費規則及海軍南洋群島關東州南滿洲旅費規則ノ規定ニ拘ラズ別表ニ依ル

海軍公報 第二千四百二十八號 昭和十年四月一日

二九三

2031

中將	三五〇〇〇	准士官	一六〇〇〇
少將		判任文官五級以上	
各科大佐	二五〇〇〇	判任文官六級以下 列任文官待遇者	一二〇〇〇
各科中佐		雇員	七〇〇〇
各科少佐		備人	四〇〇〇
各科大尉			
各科特務大尉			
各科中尉	一九〇〇〇		
各科少尉			
各科特務少尉			

一 高等文官同待遇者ニハ本表ノ官等ニ相當スル額ヲ給ス

二 出張旅行者ニハ特別ノ事由ニ因リ海軍大臣ノ認許ヲ經タル場合ノ外支度料ヲ支給セズ

官房第一三五〇號
左ノ諸令ハ之ヲ廢止ス

昭和十年四月一日
海軍大臣

昭和六年官房第四〇六五號（海軍軍人軍屬ニシテ滿洲）

事變ニ關シ戰地派遣者ニ海軍戰時給與規則適用ノ件）
昭和七年官房第四二一號（事變地ニ在ル海軍軍人軍屬ニ日用品及臨時飲食物給與ノ件）
昭和七年官房第四四三號（官衙ニ勤務スル准士官以上、候補生及軍屬ニ食料支給ノ件）
昭和七年官房第六二二號（事變地派遣ノ職工ニ職工臨時給與規則適用ノ件）
昭和七年官房第一一四六號（各應勤務海軍軍人軍屬ニ戰時増俸支給ノ件）
昭和七年官房第二三一六號（昭和七年官房第四二一號、第四四三號、第六二二號ノ適用停止ノ件）
昭和七年官房第二八七〇號（當分ノ間海軍戰時給與規則ニ依リ糧食支給金額ニ關スル件）
昭和八年官房第一五〇四號（滿洲國在勤ノ海軍軍人軍屬ニ在勤加俸及増給外支給取扱方ノ件）

官房第一三五一號
昭和二年勅令第三十二號ニ依ル増給支給規則ハ其ノ適用ヲ停止ス

昭和十年四月一日
海軍大臣

（會計法規類集中卷三四ノ二頁參照）

2032

○通牒

經給第一四號

昭和十年四月一日

海軍省經理局

關係各廳御中

在外海軍部隊艦船臨時給與令取扱方ニ

關スル件通牒

今般首題臨時給與令發令セラレ候處其ノ取扱方左記ノ
通御承知相成度爲念

記

一 海軍戰時給與規則、昭和六年勅令第二百九十九號
及昭和二年勅令第三十二號其ノ他戰時給與又ハ之
ニ關聯スル諸規定ハ昭和十年三月三十一日限り之
ヲ廢止又ハ其ノ適用ヲ停止シ四月一日以降在滿及
在支ノ艦船部隊ニ付テハ在外海軍部隊艦船臨時給
與令ヲ適用セラル

(註)

(イ)昭和七年達第八十一號附則ハ削除セラレ四月

一日以降臺灣及關東州ニ在ル艦船部隊ニハ給

與令第一表ノ二(參照)ヲ適用セズ

(ロ)支那沿岸及揚子江流域ニ在ル艦船ノ乗員(陸

戰隊員ヲ含ム)ニハ海軍臨時增給支給規則ノ
定ムル處ニ依リ臨時增給アルモ滿洲ニ在ル者
及同沿岸ニ在ル艦船乗員ニハ現在ニ於テハ臨
時增給ナシ

二 在外海軍部隊艦船臨時給與令及同施行細則中給與
ノ始終期及支給區分等ニ關シ明文ナキモノニ付テ
ハ海軍給與令及同施行細則中關東州在勤者ニ付定
ムル所ニ準ズ

三 江防艦隊指導ノ爲同隊所屬ノ艦船ニ派遣勤務スル
者ノ給與ハ臨時防備隊附屬艦船乗員ノ給與ニ準ズ
嗜好食料七錢ニ就テハ大正十五年官房第三七九五
號ニ依ル増給ナシ

四 海軍給與令第八十八條第二項ニ依ル辨償額ハ一食
ニ付二十五錢トス

五 埋葬費ニ關シ在外海軍部隊艦船臨時給與令施行細
則第八條但書ヲ適用スル場合ニハ遺骨又ハ遺物ノ
交付ニ要スル費用ハ之ヲ官費支辨トスル限ニ在ラ
ズ

六 馬公及旅順要港部附屬ノ艦船乗員警備ノ爲特ニ支
那沿岸又ハ滿洲沿岸ニ派遣セラレタルトキハ在外
海軍部隊艦船臨時給與令第十二條ノ規定ニ依リ航

海加俸ヲ給ス

經給第一六號

昭和十年四月一日

海軍省 經理局

關係各廳御中

學生ノ赴任手當支給區分ニ關スル件通牒

昭和三年經給第一三七號首題ノ件中左記ノ通追加致候
追テ右ハ昭和九年十一月十五日以後ノ給與ニ付適用
差支無之

記

學生取扱區分中通信學校ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

海軍航海學校

通學

當分ノ内

(海軍會計法規類集中卷四二四頁參照)

○ 辭 令

○昭和十年四月一日

海軍看護兵曹長勳六等 小笠原馬之助

任海軍屬兼海軍書記

給四級俸

任海軍書記

給六級俸

(各通)

任海軍技手

給月俸七拾圓

海軍一等主計兵曹

陸軍工兵少尉正八位

平澤 七之助
齋藤 省三
金子 家元

(各通)

豊野 三男造
佐野 義久
佐崎 俊雄
前田 長美
後藤 薫
本間 光正
吉田 博吉
渡邊 綱紀
鶴澤 利助
小宮山 香苗
總山 忠雄
増田 醇
上坂 正勝
小島 正男

任海軍技手
給七級俸

卯西 外次
久保田 糸男
丹野 舜三郎

(各通)

廣田 廣太郎
富田 豊一
江口 武八

任海軍技手
給月俸六拾圓

故海軍大尉原田富士父 原田 藏助

大正八年勅令第三百七十一號ニ依リ金壹萬圓ヲ給與

ス

故海軍航空兵曹長佐藤太市寡婦 佐藤 カネ

大正八年勅令第三百七十一號ニ依リ金五千圓ヲ給與

ス

故海軍二等航空兵曹西山酉男父

西山 興市

(通各) 故海軍一等航空兵宮地茂父 宮地 豊助

同 松岡英次父 松岡 協次郎

大正八年勅令第三百七十一號ニ依リ金參千圓ヲ給與
ス(以上三訓海軍省)

海軍屬 安 島 安

同 水谷 誠太郎

海軍書記 仁科 誠三郎

同 弘中 正男

同 齋藤 久男

同 高井 進

同 熊谷 小三郎

同 内藤 義比

同 佐藤 勇

海軍技手 中村 清藏

同 木下 薰三郎

同 檜垣 義男

同 原田 双一

同 岩崎 幸太郎

同 恩地 豊

同 永松 鶴作

同 河野 盛三

同 小川 山乙

(各通)

給二級俸

(各通)

海軍航空廠附ヲ命ス

同	上坂 正勝
同	小島 正男
同	卯西 外次
同	久保田 糸男
同	丹野 舜三郎
同	江口 武八

海軍航空本部勤務ヲ命ス

故海軍大尉原田富士父 原田 藏助

大正二年勅令第九號ニ依リ金四千圓ヲ給與ス

故海軍航空兵曹長佐藤太市寡婦 佐藤 カネ

大正二年勅令第九號ニ依リ金壹千八百圓ヲ給與ス

故海軍二等航空兵曹西山酉男父 西山 與市

大正二年勅令第九號ニ依リ金壹千四百圓ヲ給與ス

故海軍一等航空兵宮地 茂父 宮地 豊助

(通) 同 松岡英次父 松岡 脇次郎

大正二年勅令第九號ニ依リ金壹千百圓ヲ給與ス(以上請同)

海軍技手 名 田 清

技術部勤務ヲ命ス(註)海軍航空本部)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第七潜水隊司令ハ去月二十九日司令潜水艦ヲ臨時伊號
第三潜水艦ヨリ伊號第一潜水艦ニ變更セリ

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月一日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、春日、

那智、

矢風、澤風、浦風、
伊二三、伊二四、伊五三、伊六三、

富士、尻矢、膠州、知床、青島

(鈴谷)

【長浦】

潮、朧、曙、天霧、朝霧、夕霧、

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九、

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四、

芝浦、那珂、

秋風、羽風、太刀風、帆風、

浦賀、巖島、

沼風、神風、野風、波風、

大泊、洲崎、

【吳】長門、矢矧、綠崎、日向、加古、淀、

大鯨、大井、天龍、勝力、白鷺、

夕顔、菊、葵、浦波、吹雪、

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、

呂六三、呂六四、伊五二、伊五一、

伊二三、伊二二、伊五七、伊五六、

伊五八、伊六八、

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一六、

石廊、攝津、朝日、室戸、

(最上)、(呂三三)

【大阪】白雪、

【神戸】(伊六)、(伊六九)、(伊七二)

【相生】初雪、

【江田内】平戸、

【舞鶴】吾妻、川内、鬼怒、

若竹、吳竹、早苗、夕暮、

呂二六、

友鶴、

【佐世保】加賀、迅鯨、霧島、出雲、妙高、北上、

八重山、

梨竹、榎、桃、柳、檜、楡、夕月、菊月、

望月、三月月、睦月、如月、彌生、卯月、

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、

呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、

伊六五、伊六六、伊六七、

初雁、千鳥、真鶴、

敷島、早鞆、野島、

(伊七〇)

【長崎】羽黒、足柄、

(三限)

【宮古島】能登呂
 【馬公】龍田
 【旅順】藤、葛、萩、薄
 【大連】比叡、口球磨
 【鎮海】白雲、薄雲、叢雲
 【青島】常磐
 【上海】磐手
 【馬鞍山】葛、菱、葦
 【馬鞍山】宇治
 【馬鞍山】島海、摩耶、高雄、愛宕、青葉、衣笠、古鷹、神通、由良、長鯨、赤城、神威、響、雷、電、漣、狹霧、曉、綾波、敷波、東雲、磯波、沖風、峯風
 【伊五四、伊五五、伊六〇、伊五九、伊六四、伊六一、伊六二】
 鳴戸
 【南京】比良
 【九江】栗
 【漢口】對馬、保津、勢多
 【長沙】鳥羽
 【宜昌】安宅、堅田
 【重慶】熱海
 【馬尼拉】夕風、刈萱
 【廈門】芙蓉、朝顔、島風

【汕頭】沙風、灘風、蓮、蓼、蓬
 【廣東】嵯峨
 【新嘉坡】淺間、八雲
 【羅府】隱戶、襟裳
 【演習地】山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、五十鈴、名取、阿武隈、多摩、龍驤、鳳翔
 【初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、臯月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、松風、朝風、春風、旗風、楡、柿、伊一、伊二、伊三、伊五、伊四、問宮、鶴見】
 【航海中】
 佐多 (三月二十四日「ホノルル」發—佐世保—)
 二見 (三月二十八日宜昌發—重慶—)
 梅 (三月三十一日上海發—南京—)
 呂六六、呂六五、呂六七 (一日馬公發—基隆—)

(號外五頁、部内限二頁)

ホク	ホノ	ホネ	ホカ	ホチ	ホニ	ホハ	ニナ	ニホ	ニロ	ニイ	ロノ	ロホ	イワ	イヌ
凝	塩	植 物 油	酢	醬 油	焙 麥	茶	乾 物	豆	黄 雙	白 砂 糖	特 種 貯 藏 魚 肉	特 種 貯 藏 獸 肉	壓 搾 麥	白 米
脂														
同	一 疋	同	同	一 立	同	同	同	同	同	同	同	同	同	一 疋
五三〇	一〇〇	八九〇	二〇〇	三四〇	二二〇	五〇〇	四〇〇	二四〇	二九〇	三八〇	七〇〇	一四〇〇	一五〇	二二〇
五三〇	〇九〇	八三〇	一七〇	二三〇	二二〇	五〇〇	三七〇	二一〇	二九〇	三八〇			一五〇	二二〇
五三〇	一〇〇	六〇〇	二〇〇	三四〇	二二〇	五〇〇	五〇〇	一八〇	二六〇	三〇〇	七〇〇	一四〇〇	一七〇	二二〇
六三〇	〇九〇	八〇〇	一八〇	三一〇	二〇〇	五〇〇	五〇〇	二二〇	二六〇	三〇〇	七〇〇	一四〇〇	一七〇	一八〇

2042

備	ツフ	ツホ	レイ	タロ	ヨフ	ワイ	トイ	ヘハ
<p>一、滋養品及汁ノ實用豆腐、油揚類竝ニ本表記載外ノ糧食品ハ時價ヲ以テ購買スルモノトス但シ交換品ハ其ノ規定品ノ所定代價以内トス</p> <p>二、本表記載以外ノ地ニ在リテハ時價ヲ以テ購買スルモノトス</p> <p>三、必要已ムヲ得ザル場合ニ限リ本表代價ノ一割増以内ヲ以テ購買スルコトヲ得</p> <p>四、給糧艦ニ於テ補給用糧食品購入ニ際シ特ニ必要アル場合ニ限リ本表代價ニ依ラズ時價ヲ以テ購買スルコトヲ得</p> <p>五、所屬長官ハ麾下艦船部隊、北海道、朝鮮、臺灣、關東州、樺太、滿洲國、中華民國及亞細亞露領沿</p>	火	麥	第二種漬物	第一種漬物	味	生野菜	骨付生魚肉	骨付生獸肉
	酒	粉	同	同	同	同	同	同
	一立	同	同	同	同	同	同	同
	一〇〇〇	二〇〇	四〇〇	一六〇	二五〇	一四〇	五四〇	七六〇
	一〇三〇	一八〇	二七〇	一〇〇	一九〇	一一〇	四〇〇	八五〇
	一一〇〇	二〇〇	五〇〇	二〇〇	二五〇	二〇〇	五五〇	五五〇
	一一〇〇	二〇〇	四七〇	一六〇	三〇〇	一三〇	六五〇	六八〇

2043

考

岸ニ於テ必要已ムヲ得ザル場合ニ限り本表代價ノ一割五分増以内ヲ以テ購買セシムルコトヲ得
 六、一品目ノ下ニ數種アルモノハ購買ノ都度其ノ代價ヲ平均シ本表ノ代價以内ナレバ差支ナキモノトス
 七、時價又ハ割増購買ヲ爲シタルトキハ其ノ品名、數量、平均單價、代價、購入地及供給者氏名ヲ各月
 毎ニ本表ノ品種區別ニ依リ所屬軍需部ヲ經テ軍需局ニ報告スベシ

○ 通 牒

軍需糧第四五號

海軍給與令施行細則第三百三十一條第三項ニ依ル糧食品單價ハ昭和十年度間左ノ通定ム

昭和十年三月三十日

海軍省軍需局長

略電報	品名	單	價	略電報	品名	單	價	略電報	品名	單	價
イリ	砂糖 麵糖 入麩	二付	二五〇	ロン	貯藏魚肉	二付	四七〇	ニナ	乾物	二付	三七〇
イヌ	白米	同	一九〇	ニイ	白砂糖	同	三五〇	ホハ	茶	同	三八〇
イワ	壓搾麥	同	一四〇	ニロ	黃雙	同	二八〇	ホニ	焙麥	同	一八〇
ロロ	貯藏獸肉	同	一四〇〇	ニホ	豆	同	一七〇	ホチ	醬油	二付立	一六〇

2044

一、艦船直接購買品及本表記載外ノモノハ其ノ購買單價ニヨル

ホノ	ホネ	ホカ
塩	植物油	酢
ニ一 付冠	同	ニ一 付立
〇七〇	四五〇	一二〇
タロ	ヨフ	ホク
第一種漬物	味噌	凝脂
同	同	ニ一 付冠
〇七〇	一三〇	四七〇
ツワ	ツホ	レイ
火酒	麥粉	第二種漬物
ニ一 付立	同	同
一〇〇〇	一六〇	二二〇

2645

海軍公報

第二千四百二十九號

昭和十年四月二日(火)

海軍大臣官房

○ 雜款

○ 命名式舉行

左記ニヨリ各報國號飛行機ノ命名式ヲ舉行セラル

一、飛行機番號名稱其ノ他

報國號番號	名稱	機種	製造資金獻納者
第七十四號	第三國民號	九〇式艦上戰闘機	全国各地個人篤志者及團體
第七十五號	第四國民號	同	同
第七十六號	第五國民號	同	同
第七十七號	第六國民號	同	同
第七十八號	第七國民號	同	同
第七十九號	第八國民號	同	同
第八十號	第九國民號	同	同

二、日時(開式時刻)

四月十三日(土曜) (當日雨天ノ場合ハ翌十四日)

(日曜 晴雨不拘) 午後一時三十分

三、場所

遞信省東京飛行場 (東京市蒲田區羽田江戶見町)

(海軍省副官)

○ 司令驅逐艦指定

第九驅逐隊司令ハ昨日司令驅逐艦ヲ有明ニ指定セリ

○ 郵便物發送先

驅逐艦夕暮宛

四月 九 日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保 其ノ後ハ 第九驅逐隊ニ同ジ

特命檢閱使宛

自四月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀 軍艦金剛 至同 二十六日迄ニ到達見込ノモノハ 大湊 水交社 其ノ後ハ 自同 二十七日迄ニ 同 至五月 二日迄ニ 同 軍令部第四課

豫備役海軍大佐正五位勳三等功五級野口寛去月三十日卒去、本二日午後二時ヨリ同三時迄江戶川區小岩町二ノ二五八四自宅ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

○艦船所在

▲印ハハホシノ
指定ヲ要セズ

○四月二日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張、金剛▲、木曾、駒橋、那智
矢風、澤風、浦風

□伊二三、伊二四、伊五三▲、伊六三▲

富士▲、尻矢、膠州、知床、青島

(鈴谷)

【長浦】

湖、朧、曙、□天霧、朝霧、夕霧
呂五四、呂五五、呂五六、□呂五七、
呂五八、呂五九

□掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【芝浦】

□秋風、羽風、太刀風、帆風

【浦賀】

嚴島▲

【大湊】

沼風、神風、野風、波風

【吳】

長門、矢矧、韓崎、日向▲、加古、淀、
大鯨、大井、□天龍、勝力、白鷹

□夕顔、菊、葵、浦波▲、吹雪▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、
呂五三、□呂二八、呂二七、□呂六八、
呂六三、呂六四、□伊五二、伊五一、
□伊二三、伊二二、□伊五七、伊五六、

伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、□掃一三、
掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日、室戶

(最上)、(呂三三)

【大阪】

白雪

【神戸】

(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【相生】

□初雪

【江田内】

平戸

【舞鶴】

吾妻▲、川内、鬼怒

【佐世保】

友鶴

【長崎】

呂二六

【伊七〇】

加賀▲、迅鯨、霧島、出雲、妙高、□北上、
八重山▲

【伊七〇】

梨、竹、樵、桃、柳、櫻、檜、□夕月、菊月、
望月、三日月、□睦月、如月、彌生、卯月、
呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、
呂三二、□呂六〇、呂六一、呂六二、
□伊六五、伊六六、伊六七

【伊七〇】

□初雁、千鳥、真鶴

【伊七〇】

敷島▲、早柄、野鳥

【伊七〇】

羽黒▲、足柄

【伊七〇】

(三隈)

【宮古島】能登呂

【馬公】龍田

【鎮海】常磐

【大連】比叡、口球磨

【青島】磐手

【上海】宇治

【馬鞍嶺】宇治

古鷹、神通、由良、長鯨、赤城、神威、響、雷、電、漣、狹霧、曉、綾波、敷波、東雲、磯波、沖風、峯風、伊五四、伊五五、伊六〇、伊五九、伊六四、伊六一、伊六二、鳴戸

【南京】榎

【九江】栗

【漢口】對馬、保津、勢多

【長沙】鳥羽

【宜昌】安宅、堅田

【重慶】二見、熱海

【馬尾】夕風、刈萱

【廈門】芙蓉、朝顔、島風

【汕頭】沙風、灘風、蓮、蓬

【廣東】嵯峨

【羅府】隱戸、襟裳

【濱習地】山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、五十鈴、名取、阿武隈、多摩、龍驤、鳳翔

【初霜】初春、子日、若葉、長月、水無月、草月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、松風、朝風、春風、旗風、楡、栉

【伊一】伊二、伊三、伊五、伊四、間宮、鶴見

【航海中】佐多（三月二十四日「ホノルル」發—佐世保—）

淺間、八雲（一日新嘉坡發—「バクビヤ」—）

春日（一日橫須賀發—龜ヶ首—）

有明（一日橫須賀發—寺島水道—）

夕暮（一日舞鶴發—寺島水道—）

呂六六、呂六五、呂六七（一日馬公發—基隆—）

比良（二日南京發—上海—）

（號外二頁、附錄三頁、部内限七頁、同別表二葉、同號外一頁）

海軍公報 號外

海軍大臣官房

昭和十年四月二日(火)

○ 令 達

官房第一〇九號ノ三

海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和十年四月一日

海 軍 大 臣

三機械、器具類第九項中「齋藤耕作」ノ所在地及工場所在地ヲ「東京市蒲田區矢口町七三一」ニ改ム
六錨鎖、索具類第一項中「株式會社村上鐵工所」ノ行ヲ左ノ通改ム

株式會社田中機械製作所

(五五格未滿)

○大阪市港區尻無川北通三丁目一

製鎖部工場

五大阪市浪速區木津川町三丁目一

六錨鎖、索具類第二項中「株式會社村上鐵工所」ノ行ヲ左ノ通定ム

株式會社田中機械製作所

○大阪市港區尻無川北通三丁目一

製鎖部工場

五大阪市浪速區木津川町三丁目一

九、石綿、珪綿類第一項、同第二項及同第四項中「カナエパッキング製造株式會社」ヲ「カナエ石綿工業株式會社」ニ改ム

海軍公報 號外

一一 護謨、エボナイト類第八項中「株式會社氣球製作所」ノ所在地及工場所在地ヲ「東京市蒲田區北糺谷町二四九〇」ニ改ム

一七 雜品類第三項ノ次ニ左ノ通加フ

三ノ	食器	碗	三重縣桑名郡桑名町大字江場一九一七	三重縣桑名郡桑名町大字江場一九一七
----	----	---	-------------------	-------------------

一八 被服物品第一〇項ヲ削ル

2050

海軍公報附錄

昭和十年四月二日(火)
海軍大臣官房

本邦駐在外國海軍士官名簿 (昭和十年四月一日調)

國別	職	官	勳	氏名	現官任命年月日	着任年月 (解任後定年月)	宿所 (電話)	家族
佛國	大使館附 武官	中佐		A. de la Noe	昭和四・一・四	昭和七・三	麹町三番町二七 事務所 赤坂 (九段 一五二〇) (青山 四〇五九)	夫人
佛國	駐在	中尉		R. Teissier du Cros	同 四・一〇・一	同 (九・八・五)	麻布新龍土町二二	
蘇國	大使館附 武官	大常官		A. Kovaloff	同	同 (七・一〇・一〇)	麻布狸穴一蘇國大使館 (赤坂 一三八)	夫人
蘇國	大使館附 武官	大佐		J. G. P. Virian	昭和三・六・三〇	同 (二・二・二)	赤坂臺町一五 (青山 五七七六)	夫人
英	輔佐官	機關中佐		G. C. Ross	同 七・三・三	同 (二・八・六)	澁谷原宿二ノ一七〇 (青山 一一二一七)	夫人
英	駐在	大尉		C. H. Holmes	同 四・三・一	同 (二・八・七)	芝公園一號地四	
英	同	機關大尉		P. L. Nicol	同 三・六・三〇	同 (七・四・四)	本郷元町一ノ五文化アパート メント(小石川 二九三二)	
英	同	主計大尉		J. P. Mc Intyre	同 三・一・一	同 (二・二・二)	牛込新小川町 江戸川アパートメント	
英	同	同		A. E. N. Merry	同 六・一〇・一	同 (二・九・六)	日本橋通三丁目 中將湯アパートメント	

海軍公報附錄

(三)

空軍武官ニシテ海軍武官ニ準ジ取扱ヘルモノ

英國大使館附空軍武官 空軍中佐 R. W. Chappel 麴町五番町二 (九段 四三七〇)

(昭和一〇、一着任夫人アリ)

新刊豫約募集

昭和十年四月一日調

在 海軍士官名簿 (菊判半切ホツケット型)
紙數約六百頁

實價 約五十錢の見込

右今般本會に於て昨年の例に準じ發行す。該名簿は各科士官特務士官を各官等順次に五十音順に列記し、(兵科機關科に在つては及後會番號)、其の他學位等を附記し又其の現住所、電話番號、出身地府縣名、並に現在各關係の官公署、學校、團隊、會社名、所掌職名、其の主用電話番號、其の所在地名又は個人經營の事業等を記載し、尙離現役者必須諸手續便覽(服役、恩給、義濟會、信義會、海技免狀、宮中關係、年中儀式、死亡、恩給調書提出等に關する諸事項)を附す。

本書は來る五月中には配本の豫定なり、要望者は來る四月二十日迄に豫約(可成各廳、艦、團隊毎に取纏め)申込まれたし。

昭和十年三月

東京市芝區榮町十三番地水交社構内

財團 海軍 有終會
法人

振替東京三四一〇二番

2054

海軍公報 第二千四百三十號

昭和十年四月四日(木)
海軍大臣官房

○令達

官房第一四一〇號

昭和九年官房第一二七五號被服糧食品電報略語中左ノ
通追加ス

昭和十年四月四日

海軍大臣

略語	原	語	數稱
ヘス	骨付冷凍牛肉(南米産)		疋

○通牒

官房第一四一一號

昭和十年四月四日

海軍省副官

在京各廳長殿

國旗掲揚ニ關スル件通牒

滿洲國皇帝陛下御著京當日ハ在京各廳、御滯京中及御
離京當日ハ御道筋ニ當ル各廳ニ於テ日滿兩國國旗ヲ昭
和五年官房第四一四六號ノ第三號(諸例則卷三、九二
頁參照)ニ依リ掲揚ノコトニ被定候

○辭令

九州帝國大學教授

各) 金貳百五拾圓

永積 純次郎

(通) 金百圓

同

安藤 一雄

海軍燃料廠ニ於ケル囑託ノ報酬トシテ(各頭書ノ通)
ヲ贈與ス(海軍省)

海軍中佐 岡野 俊孝

武功調査事務囑託ヲ解ク(海軍省)

東京帝國大學教授 平 賀 讓

海軍省事務囑託ヲ解キ海軍艦政本部ニ於ケル造船業
務ヲ囑託シ報酬月額貳百圓ヲ贈與ス(海軍省)

海軍公報 第二千四百三十號 昭和十年四月四日

三〇七

海軍省事務ヲ囑託ス(謂同)
海軍大佐 角田 貞雄

(各通) 海軍少佐 福住 不二男
海軍主計中佐 爲本 博篤

第一課勤務ヲ命ス(謂海軍省軍務局)

○ 雜 款

○ 旗艦變更
第十一戰隊司令官ハ一昨二日旗艦ヲ一時二見ヨリ熱海ニ變更セリ

○ 軍艦出雲行動豫定

地名 着 發
佐世保 四月五日 四月五日
長崎 四月五日

○ 特務艦青島行動豫定

地名 着 發
横須賀 四月十四日 四月十一日
吳 四月十七日 四月十六日
佐世保 四月十七日 四月十九日
舞鶴 四月二十一日 四月二十三日
吳 四月二十五日 四月二十七日

横須賀 三十日

○ 軍艦春日行動豫定變更(三月二十九日) (本欄参照)

地名 着 發
横須賀 四月六日 四月一日
龜ヶ首 四月七日 四月八日
德府山 四月九日 四月九日
別府 四月九日 四月九日
横須賀 四月十三日 四月九日

○ 郵便物發送先

軍艦嚴島宛 自今 横須賀

軍艦出雲宛 自今 長崎

特務艦青島宛 四月十日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀

同 四月十五日迄ニ同 吳 横須賀
同 四月十八日迄ニ同 佐世保
同 四月二十二日迄ニ同 新舞鶴
同 四月二十七日迄ニ同 吳 横須賀
其ノ後ハ 横須賀

○ 郵便物發送先變更(三月二十九日) (本欄参照)

軍艦春日宛

四月七日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

徳山
横須賀

○出發

野村特命檢閱使一行ハ來四月十二日午前九時二十四分東京驛發五月四日午前十時二十五分上野驛歸着ノ豫定

○改姓

海軍機關少尉藤吉六郎ハ志岐ト改姓ノ旨去月二十五日届出デタリ

○學生着任期日

本月一日任命セラレタル本校選科學生ハ來十日午後一時三十分入校式施行ニ付其ノ前日迄ニ着任セシメラレ度(外國語學校ニ於テ試験ノ上各語學ニ學年ニ編入希望ノ向ハ本校副官宛通知ヲ得度)

(海軍大學校)

○艦船所在

△印ハ「ハカ」
指定ヲ要セズ

○四月四日午前十時調

【横須賀】陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、那智、
那珂

矢風、澤風、浦風

伊二三、伊二四、伊五三、伊六三、
富士、尻矢、膠州、知床、青島、洲崎

(鈴谷)

【長浦】嚴島

潮、臘、曙、秋風、羽風、太刀風、帆風、
天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、
呂五八、呂五九

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【大湊】沼風、神風、野風、波風
大泊

【吳】長門、矢矧、韓崎、日向、加古、淀、
大鯨、大井、天龍、勝力、自應

夕顔、菊、葵、浦波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、
呂五三、呂二八、伊五七、伊五六、
伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、

【大阪】

白雲
(最上)、(呂三三)

掃一四、掃一五、掃一六
石廊、攝津、朝日、室戸

【神戸】

(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【相生】

初雪

【江田内】

平戸

【龜川】

呂二七、呂六八、呂六三、呂六四、
伊二二、伊二一、伊五二、伊五一

【舞鶴】

吾妻、川内、鬼怒
若竹、吳竹、早苗

【佐世保】

友鶴
呂二六

【北上市】

常磐

【寺島水道】

有明、夕暮

【長崎】

羽黒、足柄

【馬公】(三隈)
△龍田
▽連

【基隆】△呂六六、呂六五、呂六七

【鎮海】△藤、蔦、萩、薄

【大連】△球磨、磐手

【青島】△宇治、比良

【上海】△榎

【南京】△栗

【九江】△對馬、保津、勢多

【漢口】△鳥羽

【長沙】△安宅、堅田

【宜昌】△熱海、二見

【重慶】△夕風、朝顔

【馬尾】△芙蓉、朝顔
△沙風、島風、蓼、蓬

【廈門】△沙風

【汕頭】△嗟峨

【廣東】△襟裳

【羅府】△淺間、八雲

【パタゴニア】

【航海中】
佐多 (三月二十四日、ホノルル) 發 - 佐世保 ()

春日 (一日横須賀發 - 危ヶ首 ())
比叡、△白雲、薄雲、叢雲 (二日大連發 - 横濱 ())

△島海、摩耶、高雄、愛宕、△青葉、衣笠、古鷹、
△神通、△山良、長鯨、△赤城、△響、雷、電、△連、
狹霧、曉、△綾波、敷波、△東雲、磯波、△沖風、
峯風、△伊五四、伊五五、△伊六〇、伊五九、
△伊六四、伊六一、伊六二、鳴戸 (二日馬鞍群島發
— 寺島水道 ())

能登呂 (二日宮古島發 - 古仁屋 ())

隱戸 (二日羅府發 - 「ホノルル」 ())

△山城、扶桑、△榛名、伊勢、△長良、五十鈴、名取、
△阿武隈、△多摩、△龍驤、鳳翔、神威、△初霜、初春、
子日、若葉、△長月、水無月、皐月、文月、△疾風、
追風、朝風、夕風、△松風、朝風、春風、旗風、
△檜、梯、△伊一、伊二、伊三、△伊五、伊四、
問宮、鶴見 (三日寺島水道 ())

朝霧 (四日長浦發 - 二見 ())

△白雲、薄雲、叢雲 (二日大連發 - 横濱 ())

(部内限二頁)

海軍公報

第二千四百三十一號

昭和十年四月五日(金)

海軍大臣官房

○通牒

艦本第三六五八號

海軍造船機造兵主要材料用途別摘要表造機ノ部中左ノ通改正ス

昭和十年三月二十五日

海軍艦政本部長

第一號鍛鋼品用途ノ項中第一種第二號ノ欄「掛外銜接手」ノ次ニ「高壓用衛帶輪」ヲ、第五種ノ欄用途ノ項「減速裝置親齒車軸及殼」ノ次ニ「ツオートム」ヲ加フ

第三號船體用壓延鋼材(鋼板)用途ノ項中軟質鋼第二種ノ欄「通風機械扇車翼」ノ次ニ「高壓用衛帶輪、給水加熱器胴板、重油加熱器管板、給水加熱器管板」ヲ加フ

第七號罐用壓延鋼材(鋼板)用途ノ項中第二種ノ欄「給水加熱器胴板」ヲ削ル

第十三號蒸氣管用繼目無鋼管用途ノ項中「油壓傳導裝

置用油壓管」ノ次ニ「內火機械用起動空氣管、同用噴射空氣管」ヲ加フ

第十四號一般用繼目無鋼管用途ノ項中第四種ノ欄「消防送管」ヲ削リ第六種ノ欄末尾ニ「消防送管、潜水艦造水裝置用清水管」ヲ加フ

○辭令

海軍少佐 直井 俊夫

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

海軍屬 宮下 仙三

同 兒島 綱彦

同 森 唯三

同 塚田 福太郎

同 安島 安

同 中川 淳造

同 小笠原馬之助

(各通)

海軍公報 第二千四百三十一號 昭和十年四月五日

三一三

<p>昭和十年靖國神社臨時祭委員附ヲ命ス(以上謂海軍省)</p> <p>同 奥津 彰</p>	<p>技術部勤務ヲ命ス(謂海軍航空本部)</p> <p>海軍技手 江口 武八</p> <p>陸軍工兵少尉正八位 黒川 健一</p>	<p>測量實施ヲ囑託ス</p> <p>但シ報酬月額六拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル</p> <p>矢崎 忠藏</p>	<p>測量實施ヲ囑託ス</p> <p>但シ報酬月額五拾五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル</p> <p>海軍技師 荒木 力次</p> <p>同 名古屋 金吾</p>	<p>第二課勤務ヲ命ス</p> <p>海軍書記 平澤 七之助</p> <p>會計課勤務ヲ命ス 海軍技手 富田 豊一</p>	<p>第一課兼第二課勤務ヲ命ス</p> <p>同 佐野 義久</p> <p>同 廣田 廣太郎</p>
<p>第二課勤務ヲ命ス</p> <p>(各通) 同 前田 長美</p> <p>第三課勤務ヲ命ス 同 後藤 薫</p> <p>第四課勤務ヲ命ス(以上謂水路部) 同 佐崎 俊雄</p>					
<p>○雜款</p>					
<p>○旗艦變更</p> <p>第三艦隊司令長官ハ昨四日旗艦ヲ球磨ヨリ磐手ニ變更セリ</p>					
<p>○旗艦指定</p> <p>横須賀防備戰隊司令官ハ昨四日旗艦ヲ嚴島ニ指定セリ</p>					
<p>○軍艦那智行動豫定</p> <p>地名 着 發</p> <p>横須賀 四月五日</p> <p>横須賀 四月五日</p> <p>横須賀 四月五日</p> <p>横須賀 四月五日</p>					
<p>○軍艦迅鯨行動豫定</p> <p>地名 着 發</p> <p>廣田 廣太郎</p>					

<p>佐世保 四月十五日 相生 四月十五日 四月十二日</p>	<p>○軍艦北上行動豫定 地名 着 佐世保 四月十三日 三角 四月十五日 佐世保 四月十五日</p>	<p>○驅逐艦菊月、三日月行動豫定 地名 着 佐世保 四月十日 長崎 四月十日</p>	<p>○郵便物發送先 軍艦那智宛 四月七日迄ニ到達見込ノモノハ 横濱 其ノ後ハ 横須賀</p>	<p>軍艦迅鯨宛 四月十一日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保 其ノ後ハ 兵庫縣赤穂郡相生 特務艦知床宛 四月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀郵便局留置</p>
<p>五月二日迄ニ同 同日迄ニ同 其ノ後ハ 横須賀郵便局留置 横須賀</p>	<p>○書類發送先 横須賀防備戰隊司令部宛書類ハ當分ノ間横須賀防備隊宛御送付相成度 (横須賀防備戰隊司令部)</p>			

海軍公報 第二千四百三十一號 昭和十年四月五日

○艦船所在

△印ハ「ハカ」
指定ヲ要セズ

○四月五日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張、金剛▲、木曾、駒橋、▽那珂
矢風、澤風、浦風

▽伊二三、伊二四、伊五三▲、伊六三▲

富士▲、尻矢、膠州、知床、青島、洲崎

(鈴谷)

【長浦】▽嚴島

▽湖、臘、曙、▽秋風、羽風、太刀風、帆風、

▽天霧

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

呂五八、呂五九

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【大湊】▽沼風、神風、野風、波風

大泊

【吳】長門、矢矧、韓崎、日向▲、加古、淀、

大鯨、大井、▽天龍、勝力、白鷹

▽夕顔、菊、葵、浦波▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▽呂二八、▽伊五七、伊五六、

伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃二三、

掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日、室戸
(最上)、(呂三三)

【大阪】

白雪

【神戸】

(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【相生】

▽初雪

【江田内】

平戸

【亀川】

呂二七、▽呂六八、呂六三、呂六四、

▽伊二二、伊二一、▽伊五二、伊五一

【舞鶴】

吾妻▲、川内、鬼怒

▽若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

【佐世保】

加賀▲、迅鯨、霧島、妙高、八重山▲、▽北上、

伊勢、衣笠

梨、竹、榎、桃、柳、檜、楡、▽夕月、菊月、

望月、三月月、▽陸月、如月、彌生、卯月、

▽楡、柿

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、

呂三二、▽呂六〇、呂六一、呂六二、

▽伊六五、伊六六、伊六七

▽初雁、千鳥、真鶴

敷島▲、早鞆、野島、鶴見

(白露)、(伊七〇)

【寺島水道】▽山城、扶桑、▽榛名、▽長良、五十鈴、

名取、▽阿武隈、▽多摩、▽龍驤、鳳翔、

【長崎】羽黒、足柄
 (三隈)
 【馬公】龍田
 【基隆】呂六六、呂六五、呂六七
 【鎮海】董、菱、葦
 【旅順】藤、蔦、萩、薄
 【青島】球磨
 【上海】宇治、比良
 【南京】榎
 【九江】栗
 【漢口】對馬、保津、勢多
 【長沙】鳥羽
 【宜昌】安宅、堅田

神威、口鳥海、摩耶、高雄、愛宕、青葉、古鷹、神通、山良、長鯨、赤城、初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、松風、朝風、春風、旗風、響、雷、電、漣、狹霧、曉、綾波、敷波、東雲、磯波、沖風、峯風、有明、夕暮、伊一、伊二、伊三、伊五、伊四、伊五五、伊五五、伊六〇、伊五九、伊六四、伊六一、伊六二、問宮、鳴戸

【重慶】熱海
 【馬尾】夕風、刈萱
 【厦門】芙蓉、朝顔
 【汕頭】沙風、灘風、島風、蓼、蓬
 【廣東】嵯峨
 【羅府】襟裳
 【バタビア】淺間、八雲

【航海中】

佐多 (三月二十四日「ホノルル」發—佐世保へ)
 比叡 (白雲、薄雲、叢雲 (二日大連發—横濱へ))
 隱戸 (二日羅府發—「ホノルル」へ)
 磐手 (四日青島發—上海へ)
 二見 (四日重慶發—長沙へ)
 能登呂 (四日古仁屋發—佐世保へ)
 春日 (四日亀ヶ首發—徳山へ)
 朝霧、夕霧 (四日長浦發—二見へ)
 出雲 (五日佐世保發—長崎へ)
 常磐 (五日佐世保發—相浦へ)
 那智 (五日横須賀發—横濱へ)
 吹雪 (五日吳發—佐世保へ)

(部内限二頁、同別紙十頁)

海軍公報

第二千四百三十二號

昭和十年四月六日(主)

海軍大臣官房

○ 辭令

海軍大佐 松本 善治
 海軍艦政本部ニ於ケル事變關係造兵業務囑託ヲ解ク
 (海軍省)

海軍技術研究所ニ於ケル實驗心理學ニ
 關スル業務囑託

千參百圓 兼子 宙

海軍火藥廠ニ於ケル見習職工教育業
 務囑託

千四百圓 鈴木 勇

海軍火藥廠ニ於ケル研究調查事務囑託

貳千五百拾圓 眞崎 公一

海軍航空本部ニ於ケル研究調查囑託

千百參拾圓 笹森 賢藏

水路部ニ於ケル氣象調查事務囑託

千百參拾圓 藤井 義之

(通各)

海軍航空廠ニ於ケル青年訓練所指導囑託
 九百六拾圓 西村 省三

吳海軍工廠職工教習所教務囑託
 千七百五拾參圓 植松 清一

海軍燃料廠探炭部業務囑託
 千八百圓 萩尾 善次郎

海軍燃料廠職工教習所教務囑託
 千貳百圓 岡田 儀一

佐世保海軍病院齒科治療囑託
 千百參拾圓 的野 良四郎

第一艦隊齒科治療囑託
 貳千五百拾圓 石田 孝雄

海軍省建築局ニ於ケル土木業務囑託
 千參百圓 澄田 勘作

同 建築業務囑託
 千四百七拾圓 福田 欣二

吳海軍工廠ニ於ケル事變關係業務囑託
 千參百圓 荒川 眞五

海軍公報 第二千四百三十二號 昭和十年四月六日

三二九

<p>同 右 千貳拾圓 高畑 正二 佐世保海軍工廠ニ於ケル事變關係業務囑託 千八拾圓 三島 忠雄</p>	<p>自今報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(同月同) (各通) 海軍主計中佐 宮本 正光 海軍主計少佐 田中 東洋男 第一課勤務ヲ命ス 同 松田 盛男 第三課勤務ヲ命ス(以上請海軍省經理局)</p>	<p>○雜款</p>	<p>○驅逐艦進水 佐世保海軍工廠ニ於テ建造ノ驅逐艦白露昨五日午前九時進水セリ</p>	<p>○軍艦春日行動豫定變更(四月四日) (本欄参照) 地名 着 發 龜ヶ首 四月、四日 四月 五日 徳山 五日 八日 別府 八日 九日 横須賀 十二日</p>
<p>○海軍兵學校教育參考館紀要第一輯刊行 左記要望ノ向ハ成ルベク各部ニ於テ取纏メ代金ヲ添ヘ御申込相成度尙本紀要ニハ義ニ印行頒布セシ開戦經ニ註解ヲ加ヘタル「開戦經集解」登載有之爲念 記 一、内容 (圖版) 海軍兵學校鳥瞰繪圖、開戦經、新參考館模型寫眞並ニ設計圖 (記事) 海軍兵學校鳥瞰圖ノ說明(木村 浩吉少將)、幕末ニ於ケル海防思想(石岡颯託)、開戦經集解、鷺見文庫目錄、教育參考館沿革、蒐集報告、新築概要等</p>		<p>二、體裁 四六倍版、記事一七一頁、絲假綴 三、實費 一冊 金九拾錢(送料拾錢)(二冊 日方 四三〇元) 四、配本 申込順ニ即時發送ス 五、申込先 廣島縣安藝郡江田島村 海軍兵學校教育參考館 (振替大阪 八一三三五番) (海軍兵學校)</p>	<p>○書類發送先ニ關スル件 當隊蓬、蓼分離行動中司令宛書類ニシテ蓬、蓼ニ配布ヲ要スト認メラレルモノハ寫ヲ同艦宛御送付ノコトニ御取計ヲ得度 (第二十八驅逐隊)</p>	

海軍中佐從五位勳五等横山義雄昨五日卒去、本六日午後三時三十分ヨリ同三時三十分迄東京市大森區田園調布二ノ七二五自宅（東横線多摩川園前驛下車）ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

2067

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

○四月六日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張、金剛▲、木曾、駒橋

矢風、澤風、浦風

伊二三、伊二四、伊五三▲、伊六三▲

富士▲、尻矢、膠州、知床、青島、洲崎

(鈴谷)

【長浦】 伊湖、臘、曙、伊秋風、羽風、太刀風、帆風、

伊天霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九

伊掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【横濱】

伊那珂、伊嚴島、比叡、那智

伊白雲、薄雲、叢雲

【大湊】 伊沼風、神風、野風、波風

大泊

【吳】

長門、矢矧、韓崎、日向▲、加古、淀、

大鯨、大井、伊天龍、勝力、白鷹

伊夕顔、菊、葵、浦波▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、伊呂二八、伊伊五七、伊五六、

伊五八、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、伊掃一三、

掃一四、掃一五、掃一六
石廊、攝津、朝日、室戸
(最上)、(呂三三)

【大阪】

白雪

【神戸】

(伊六)、(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)

【相生】

伊初雪

【江田内】

平戸

【安下庄】

呂二七、伊呂六八、呂六三、呂六四、

【徳山】

春日

【三津濱】

伊二三、伊二一、伊伊五二、伊六八

【舞鶴】

吾妻▲、川内、鬼怒

友鶴

【佐世保】

加賀▲、迅鯨、霧島、妙高、八重山▲、伊北上、

伊勢、伊鳥海、摩耶、高雄、愛宕、伊青葉、

古鷹、衣笠、伊神通、伊由良、長鯨、伊赤城、

梨、竹、樞、桃、柳、檜、楡、伊夕月、伊菊月、

望月、三月月、伊陸月、如月、彌生、卯月、

伊楡、伊夕風、伊響、雷、電、伊漣、伊狭霧、

曉、伊綾波、敷波、伊東雲、磯波、伊有明、

夕暮

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、

呂三二、伊呂六〇、呂六一、呂六二、

伊伊六五、伊六六、伊六七、伊伊五四、

伊五五、伊伊六〇、伊五九、伊伊六四、

伊六一、伊六二
 伊初雁、千鳥、眞鶴
 敷島、早鞆、野島、鶴見
 (白露)、(伊七〇)
 【相浦】▷常磐
 【寺島水道】▷山城、扶桑、▷榛名、▷長良、五十鈴、
 名取、▷阿武隈、▷多摩、▷龍驤、鳳翔、
 神威
 伊初霜、初春、子日、若葉、伊長月、水無月、
 皐月、文月、伊疾風、追風、朝風、伊松風、
 朝風、春風、旗風
 伊一、伊二、伊三、伊五、伊四
 間宮、鳴戸
 羽黒、足柄、出雲
 (三隈)
 【長崎】
 【馬公】▷龍田
 【基隆】▷呂六六、呂六五、呂六七
 【鎮海】▷董、菱、葦
 【旅順】▷藤、蔦、萩、海
 【青島】▷球磨
 【上海】▷宇治、比良
 【南京】▷梅
 【九江】▷栗
 【漢口】▷對馬、保津、勢多
 【長沙】▷鳥羽

【宜昌】安宅、壁田
 【重慶】▷熱海
 【馬尾】刈萱
 【厦門】▷芙蓉、朝顔
 【汕頭】▷沙風、灘風、島風、蓼、蓬
 【廣東】嵯峨
 【作業地】朝霧、夕霧
 【航海中】
 佐多 (三月二十四日「ホノルル」發—佐世保へ)
 隱戸 (二日羅府發—「ホノルル」へ)
 襟裳 (三日羅府發—「ホノルル」へ)
 磐手 (四日青島發—上海へ)
 二見 (四日重慶發—長沙へ)
 能登呂 (四日古仁屋發—佐世保へ)
 ▷淺間、八雲 (五日「バタビヤ」發—「フリーマント
 ル」へ)
 若竹、吳竹、早苗 (五日敦賀發—若狹灣へ)
 吹雪 (五日吳發—佐世保へ)
 夕風 (五日馬尾發—馬公へ)
 沖風、峯風 (五日寺島水道發—鳥羽へ)
 蓮 (六日馬公發—高雄へ)

(部内限二頁)

海軍公報

第二千四百三十三號

海軍大臣官房

昭和十年四月八日(月)

○通牒

官房第一四五六號

昭和十年四月八日

海軍省 副官

海軍諸例
則登載

關係各廳長殿

戰時ニ於ケル佛國軍艦以外ノ艦船ノ佛國沿岸同
沿岸同殖民地等入港碇泊ニ關スル件通知
本件ニ關シ左記ノ通外務省ヨリ通牒有之候

記

戰時佛國軍艦以外ノ艦船ノ佛國沿岸同
殖民地竝ニ佛國カ國防ニ任スル地方ノ
投錨地及港ヘノ接近、碇泊條件ヲ規定
スル大統領令

第一條 戰時佛國軍艦以外ノ艦船カ佛國沿岸、同殖民
地、保護國竝ニ佛國カ國防ニ任スル委任統治國ノ投
錨地及港ニ接近又ハ碇泊スルニ際シテハ次條以下ノ

規定ニ從フコトヲ要ス

第二條 佛國商船竝ニ外國ノ軍艦商船ハ許可ナクシテ
佛國領海又ハ同殖民地、保護國竝ニ佛國カ國防ニ任
スル委任統治國ノ領海三哩以内ニ接近スル時ハ破壞
ノ危険ニ曝サルルモノトス

「シエルブール」「ブレスト」「ツローン」及「ビゼル
タ」各軍港ニ於テ以下限定ノ範圍内ニアリテハ右ノ
禁止區域ハ沿岸ヨリ沖合六哩迄トス

「シエルブール」「レヅイ」岬ノ子午線ヨリ「ジャル
ドウ」尖端ノ子午線迄

「ブレスト」「ツール」燈台ノ緯線ヨリ「ラズ」尖端
ノ緯線迄

「ツローン」「ベクド、レーグル」ノ子午線ヨリ「ベ
ナ」岬ノ子午線迄

「ビゼルタ」「ラ、アングラ」ノ子午線ヨリ「ピロ
ー」島子午線迄

第三條 本令ノ適用ヲ受クル艦船ハ禁止區域ニ接近ス

海軍公報 第二千四百三十三號 昭和十年四月八日

三二五

ルト同時ニ國旗ヲ掲揚シ
 日中ハ各特定ノ國際信號ヲ掲ケ
 夜間ハ航海燈ヲ點スルコトヲ要ス
 寄港ノ爲禁止區域ニ入ラント欲スルトキハ左記ノ請
 求ヲナスコトヲ要ス
 日中ハ水先案内請求旗(G號旗)ヲ掲揚シ出來得レ
 ハ「余ハ水先案内ヲ求ム」ヲ意味スル國際符號ノ探
 照燈信號PTヲナスヘシ
 夜間ハ「モールス」燈火信號ニヨリPT信號「余ハ水
 先案内ヲ求ム」ヲナシ次テ各船舶ノ國際信號ヲナ
 シ若シ之ヲナスコト能ハサルトキハ國際符號規定ノ
 夜間水先案内請求信號ヲナスヘシ(即チ舷旗ノ稍
 上部ニ白光色ノ點燈ヲナシ短ク且頻繁ニ光ヲ點滅セ
 シメ約一分間毎ニ區切ヲ附クルカ又ハ通常青色光ト
 稱スル「ベンガル」燈ヲ十五秒毎ニ點滅セシムヘシ)
 然レトモ右信號ニ對シ信號標、信號局又ハ警備艦ヨ
 リ何等ノ回信ナキトキハ禁止區域外ニ停止スルコト
 ヲ要ス信號標、信號局又ハ警備艦カ回信ヲナス場合
 ハ左ノ方法ノ一ニ依ル
 (イ)許可スル場合

日中ハ探照燈ニ依ルUI信號(三回)又ハ浮標ニ依
 ルUI信號
 夜間ハ探照燈又ハ爆音信號燈UI(三回)或ハ「コ
 ストン」白色火光
 (ロ)拒絶スル場合
 日中ハ探照燈ニ依ルUJ信號(三回)又ハ浮標ニ依
 ルUJ信號
 夜間ハ探照燈又ハ爆音信號燈UJ(三回)或ハ「コ
 ストン」赤綠火光
 入港ノ許可カ與ヘラレタル場合ニハ各艦船ハ日中
 ハG號旗ヲ掲ケ夜間ハ明燈ヲ點シテ禁止區域内ニ
 除行シ警備艦ニ向ヒ進行スヘシ
 警備艦ニハ通常何等明瞭ナル標示ナシ、然レトモ
 警備艦カ警備勤務ニ服シツアルコトヲ他ノ艦船
 ニ知ラシメントスル場合ニハ檣頭ニ日中ナレハ球
 ヲ、夜間ハ赤燈ヲ掲ケ又ハ「モールス」光信號
 (三回)ヲナス
 入港カ拒絶セラレタル場合ハ各艦船ハ直チニ進路
 ヲ變更シ沖合へ遠退クカ又ハ他ノ投錨地ニ向フコ
 トヲ要ス
 第四條 日没日出間ニ於テハ原則トシテ本令ノ適用ヲ

受クル總テノ艦船ハ前第二條規定ノ「シエルブ
ル」「プレスト」「ツローン」及「ビゼルタ」ノ禁止
區域ヘ入ルコトノ要求ヲナスコトヲ得ス但シ海軍常
局ヨリ許可アリタル場合以外ニ於テ該艦船カ危險狀
態ニアリ又ハ海上ニ於テ日出ヲ待チ或ハ他ノ投錨地
ヘ向フコトノ絶對ニ不可能ナルトキニ限り各艦船長
ハ夜間ニ於テモ禁止區域ヘ入ルコトノ要求ヲナスコ
トヲ得

右ノ場合ニハ國際符號ニヨリ海難信號ヲナスコトヲ
要ス

第五條 海霧ノ場合本令ノ適用ヲ受クル艦船カ禁止區
域ヘ入ラント欲スルトキハ好天ニ於ケルト同様ノ信
號ヲナシ、警備艦ヨリ入港ノ許可カ與ヘラルル迄汽
笛又ハ「サイレン」ヲ鳴ラスヘシ

「シエルブール」「プレスト」「ツローン」及「ビゼル
タ」ノ各軍港ニ關シ前第二條ニ規定シタル禁止區域
ヘノ接近ハ第四條ニ規定シタル條件ト同一條件ノ下
ニ禁止セララルモノトス

第六條 本令ノ適用ヲ受クル總テノ艦船ハ軍艦、警備
艦、信號標又ハ信號局ヨリ與ヘラレタル命令ニ直チ
ニ服スルモノトス

右命令ハ

或ハ國旗掲揚要求ノ信號發砲ニヨリ
或ハ國際符號信號ニヨリ與ヘラル

砲台又ハ軍艦ヨリ國旗掲揚要求信號ヲ受ケタル艦船
ハ直チニ九十度以上其ノ針路ヲ變更シ右要求ヲナシ
タル砲台ノ最寄ノ信號標又ハ軍艦ノ信號ヲ望見シ得
ル距離内ニ留リ得ル様動作スヘシ、艦船ハ入港ノ許
可ヲ得テ後始メテ最初ノ針路ヲ取り得ルモノトス

國旗掲揚要求ノ空砲信號アリタルニ拘ラス艦船カ其
ノ針路ヲ變更セサルトキハ暫クノ後實彈信號ヲナシ
而モ尙直チニ右命令ニ服セラルトキハ該艦船ニ對シ
有効ナル砲火ヲ加フルモノトス

緊急ノ場合ニハ空砲ニ依ル國旗掲揚要求ノ信號ヲ省
略スルコトアリ、又夜間ニ於テハ實彈ニ依ル國旗掲
揚要求ノ信號モ同様ニ省略セラルルコトアリ故ニ許
可ナクシテ禁止區域ニ入ル艦船ハ豫告ナクシテ破壞
サルルノ危險ニ曝サレ居ルモノトス

第七條 佛國、同殖民地、保護國並佛國カ國防ニ任ス
ル委任統治國ノ港灣ヘ入ルコトヲ許可セラレタル艦
船ハ必ス港内所定ノ水路ヲ通行セサルヘカラス
之カ爲該艦船ハ特ニ水路案内ニ任スル船舶ニ案内セ

ラル港内ニ水路案内船ナキトキハ警備艦ハ水先案内ヲ派出ス

右艦船ハ水上警察署又ハ水上警察署ナキトキハ地方官憲ノ指定スル位置ニ投錨シ各港ニ特定ノ規則ヲ嚴守スルコトヲ要ス

碇泊期間ハ軍事上ノ必要ニヨリ制約ヲ受ケ、場合ニヨリ沖合ニ出テ又ハ他港ヘ回航センコトヲ命ス、該命令ニハ猶豫ナク從フコトヲ要ス但シ右命令ヲ直チニ遵守シ得サル事情明カナル艦船ニ對シテハ猶豫ヲ與フルコトヲ得

如何ナル艦船モ水上警察署又ハ地方官憲ノ許可ナクシテ投錨地ヲ變更スル爲又ハ港灣退去ノ爲艦裝スルコトヲ得ス、右ノ申請ハG號旗ヲ以テナスコトヲ得

第八條 軍港又ハ要塞地帯ニ於テハ日没ヨリ日出迄ノ間、佛國軍艦ニ隸屬スル短艇以外ノ短艇ノ巡回ハ之ヲ嚴禁ス

日出ヨリ日没迄ノ間右ノ巡回ハ水上警察署ヨリ特別ナル巡回許可書ノ交付ヲ受ケ且其ノコトノ認識セラレヘキ手段ノ與ヘラレタル短艇ニ對シテノミ許可セラル

右ノ許可ヲ得タル短艇ハ許可アリタルトキハ軍艦ヨ

リ離隔スルコトヲ要ス如何ナル場合ニモ許可ナクシテ右軍艦ニ接近スルコトヲ得ス、尙短艇ノ巡回ハ特ニ港灣内ノ特定區域ニ進入スルコトヲ禁シ明示セラレタル場所以外ニ停船スルコト等ヲ禁スル各港ノ規則ニ從フコトヲ要ス

商港ニ於テモ水上警察署ハ商業上ノ利害ヲ考慮シタル上ニテ右ト同様ノ措置ヲトリ短艇ノ巡回ニ必要ナル制限ヲ加フルコトアルヘシ

第九條 中立國軍艦來訪ノ場合、接近及碇泊ニ關スル條件ハ本令ニ規定シアル處、來訪ノ通知及豫メ入港許可ヲ得ルコトニ關シテハ一九二九年九月二十九日付大統領令ノ規定ニ從フモノトス

第十條 本令ノ規定ハ動員ト同時ニ又ハ特別通告ニ依リ施行セララルモノトス

第十一條 本令ニ違反スルトキハ破壊ノ危険ヲ受クル外臨機應變ノ制裁ヲ受クルモノトス

第十二條 佛國軍艦以外ノ艦船カ戰時佛國沿岸、同殖民地並佛國カ國防ニ任スル地方ノ投錨地並港ヘノ接近及碇泊條件ニ關スル一九二七年十月五日付大統領令ハ本令ニ依リ廢止ス

第十三條 海軍大臣、外務大臣、殖民大臣及海商大臣

3-836

2073

ハ各其ノ所管ニ於テ本令施行ノ責ニ任ス

一九三四年十月一日於巴里

アルベール、ルブラン 署名
海軍、外務、殖民及海商大臣 副署

○ 辭令

海軍特務大尉 日野仁右工門

海軍艦政本部ニ於ケル事變關係造兵業務ヲ囑託シ報
酬月額六拾五圓ヲ給ス

吉田 寛二

海軍技術研究所ニ於ケル化學兵器研究ヲ囑託ス

但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(以上 海軍省)

○ 雜款

○潜水艦進水

三菱重工業株式會社神戸造船所ニ於テ建造ノ伊號第七
十二潜水艦一昨六日午前八時進水セリ

○司令艇變更

第二十一水雷隊司令ハ本月五日司令艇ヲ一時初雁ヨリ

眞鶴ニ變更セリ

○葡國軍艦ゴンサルヅエス、ザルコ來航豫定變更

(三月二十五日、同二十九日本欄參照)

地名 着 發
長崎 四月九日 四月十二日

海軍中將正四位勳三等功五級阿武清一昨六日卒
去、明九日午後二時築地本願寺ニ於テ佛式ニ依リ
海軍葬儀、同三時ヨリ四時迄告別式執行

退役海軍中將正三位勳一等功三級伊地知季珍昨七
日薨去、來十一日午後一時三十分ヨリ同二時三十
分迄青山齋場ニ於テ神式ニ依リ海軍葬儀、同三時
三十分迄告別式執行

○艦船所在

▲印ハハホシノ
指定ヲ要セズ

○四月八日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張、金剛▲木曾、駒橋、▽那珂、

比叡、那智

矢風、浦風

▽伊二三、伊二四、伊五三▲、伊六三▲

富士▲、尻矢、膠州、青島、洲崎

(鈴谷)

【長浦】▽嚴島

▽潮、隴、曙、▽秋風、羽風、太刀風、帆風、

▽天霧

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

呂五八、呂五九

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【横濱】▽白雲、薄雲、叢雲

【鳥羽】▽沖風、峯風

【大湊】▽沼風、神風、野風、波風

大泊

【吳】長門、矢矧、韓崎、日向▲、加古、淀、

大鯨、大井、▽天龍、勝力、白鷹

▽夕顔、菊、葵、浦波▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▽呂二八、呂二七、▽呂六八、

呂六三、呂六四、▽伊二三、伊二一、

▽伊五二、伊六八、▽伊五七、伊五六、

伊五八、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃二三、

掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日、室戸

(最上)、(呂三三)

【大阪】白雲

【神戸】(伊六)、(伊六九)、(伊七二)、(伊七三)

【相生】▽初雪

【江田内】平戸

【舞鶴】吾妻▲、川内

▽若竹、吳竹、早苗

友鶴

【佐世保】加賀▲、迅鯨、霧島、妙高、八重山▲、能登、呂

▽北上、▽常磐、▽鳥海、摩耶、高雄、愛宕、

▽青葉、古鷹、衣笠、▽神通、▽山良、長鯨

▽赤城、▽龍驤、風翔

梨、竹、樺、桃、柳、櫻、檜、▽夕月、菊月、

望月、三月月、▽陸月、如月、彌生、卯月、

▽檜、栴、▽響、雷、電、▽漣、狹霧、曉、

▽綾波、敷波、▽東雲、吹雪、磯波、▽有明、

夕暮、▽松風、朝風、春風、旗風

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、

呂三二、 呂六〇、 呂六一、 呂六二、
 呂六六、 呂六五、 呂六七、 呂六五、
 伊六六、 伊六七、 伊五四、 伊五五、
 伊六〇、 伊五九、 伊六四、 伊六一、
 伊六二
 眞鶴、初雁、千鳥
 敷島、早鞆、野島、鶴見
 (白露)、(伊七〇)
 【福岡灣】山口、伊勢、扶桑、 榎名、 長良、
 五十鈴、名取、 阿武隈、 多摩、神威、
 初霜、初春、子日、若葉、 長月、水無月、
 皐月、文月、 疾風、追風、朝風、夕風
 伊一、 伊二、 伊三、 伊五、 伊四
 間宮、鳴戸
 【長崎】 羽黒、 足柄、 出雲
 (三隈)
 【馬公】 沙風、 灘風、 島風、 夕風
 【高雄】 龍田
 鎮海、 荳、 菱、 葦
 旅順、 藤、 葛、 萩、 薄
 青島、 球磨
 上海、 磐手、 宇治、 比良
 南京、 梅
 九江、 栗

【漢口】 對馬、 保津、 勢多
 【長沙】 鳥羽
 【宜昌】 堅田、 二見
 【重慶】 熱海
 【馬尾】 芙蓉、 刈萱
 【厦門】 朝顔
 【汕頭】 蓼、 蓬
 【廣東】 嵯峨
 【作業地】 朝霧、 夕霧
 【航海中】
 佐多 (三月二十四日)「ホノルル」發—佐世保()
 隱戸 (二日)「羅府發」「ホノルル」()
 襟裳 (三日)「羅府發」「ホノルル」()
 淺間、 八雲 (五日)「バタビヤ」發—「フリーマント
 ル」()
 知床 (六日)「横須賀發」—「劍路」()
 鬼怒 (七日)「舞鶴發」—「長箭洞」()
 春日 (七日)「徳山發」—「別府」()
 澤風 (七日)「横須賀發」—「館山」()
 安宅 (八日)「沙市發」—「宜昌」()

(部内限三頁)